

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態と治療Ⅲ(脳神経・骨筋肉)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	秋山恭彦 落合美枝 高田秀志	実務経験と その関連資格	島根大学医学部付属病院脳神経外科に医師として勤務 病院で手術室・救急外来・内科・整形・消化器外科病棟に看護師長として勤務 病院で理学療法士として勤務			
《授業科目における学習内容》						
病気がどのような病態に基づいているのか、系統的に理解する。病気の原因を明らかにするために検査や治療の概略を学び、看護に必要な基礎知識を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 運動器 医学書院						
《授業外における学習方法》						
テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経外科系の構造と機能について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	脳神経外科①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経系の検査、診断と治療・処置について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	検査、診断と治療・処置			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:脳血管障害			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳腫瘍について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:脳腫瘍			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄疾患、末梢神経疾患について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:神経 脊髄疾患、末梢神経疾患			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、筋疾患について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解①:神経、筋疾患		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱髄・変性疾患について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解②:脱髄・変性疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	てんかん、認知症について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解③:てんかん、認知症、その他		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器の構造と機能について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	運動器の構造と機能		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	症状とその病態生理について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	症状とその病態生理		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の診断・検査と治療・処置について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	診断・検査と治療・処置		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:骨折		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱臼、捻挫、打撲、神経の損傷、筋・腱・靭帯などの損傷について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:脱臼、捻挫、打撲、神経の損傷、筋・腱・靭帯などの損傷		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天性疾患、骨・関節の炎症性疾患、骨腫瘍および軟部腫瘍について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:先天性疾患、骨・関節の炎症性疾患、骨腫瘍および軟部腫瘍		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝性疾患、筋および腱の疾患、神経の疾患について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:代謝性疾患、筋および腱の疾患、神経の疾患		